

1 本年度の取り組み

| | |
|------|---|
| 学習指導 | <p>①基礎学力テストを年3回実施し、不足している学力を把握し、教科指導に反映させた指導を行った。</p> <p>②きめ細かい学習指導により学力不振による退学者を10名以下に抑えることができた。</p> <p>③基礎学力テストを年3回実施し、学力分析会を1回実施し職員会議等でも報告した。</p> <p>④工業科が中心となり資格取得への意欲を高める指導を組織的に行った。</p> <p>⑤普通科会を学期に1回行い組織的・横断的な学習指導体制により授業力向上を推進できた。</p> <p>⑥教員相互の授業参観を研究授業その他で2回行った。授業力向上のための若手教員育成に係る指導・助言を行った。</p> <p>⑦アクティブ・ラーニング型授業展開を目指し、各科目に適した授業形態を研究した。</p> <p>⑧夏期休業期間を中心に25講座以上の講座を開催し、生徒の検定等や基礎学力向上等を推進した。</p> <p>⑨夏期休業中を活用して技能系の国家資格の取得を推進した。</p> <p>⑩授業前の時間や放課後の補習を通じて各種検定試験の勉強会を実施した。</p> <p>⑪国語科が中心となり未読率0%を達成した。蔵書の充実を行った。</p> <p>⑫主権者生徒の投票率は、60%程度となった。次回以降の投票に対して有権者教育を推進する。</p> <p>⑬オリ・パラ教育の講演会をとおして自己肯定感を高め意欲的に取り組む姿勢の醸成に努めた。</p> <p>⑭探究の視点による授業づくりは、工業科を中心に研究を行い導入へ向けた取り組みを行った。</p> |
| 生活指導 | <p>①授業中のスマホの禁止による授業規律の向上等に取り組んだ。</p> <p>②生徒情報交換会を学期に1回行い、生徒情報の共有化に努めた。また、特別支援教育講演会を2回開催し生徒理解の向上を図った。</p> <p>③生活指導部会を多く開催することや、連絡をこまめにとることで、情報の共有化を図り一枚岩の指導を行った。チャイム始業を徹底し授業規律の向上に努めた。</p> <p>④美化日を年3回行い校内美化体制を確立し校内美化に努め、生徒の帰属意識を高めることができた。</p> <p>⑤自転車事故3件、オートバイ事故1件が発生したがいずれも重大事故ではなかった。引き続き、交通事故防止の啓発活動を行っていく。</p> <p>⑥セーフティ教室を開催し情報モラル教育を行った。携帯電話の使用やネットトラブル等の不適切な使用は、行われなかった。</p> <p>⑦薬物乱用教室を実施し、薬物乱用事故は0件であった。</p> <p>⑧生命尊重に立った人権教育の充実を図り、いじめによる不登校及び中途退学は発生していない。</p> <p>⑨校内研修を3回行い、体罰事故は発生していない。</p> <p>⑩生徒情報交換会3回や特別支援教育講演会2回を行い、職員の共通理解と知識を深めることができた。</p> |
| 進路指導 | <p>①三年生向け進路ガイダンス5回、四年生向け進路ガイダンス3回、面接指導1回、キャリアガイダンス3回を行った。進学希望者には、個別に大学訪問を行い、充実した生き方、将来のあり方を学ばせることができた。</p> <p>②学年と進路指導部が連携し、大学へ一般入試による合格者を出すなど進路決定率100%を達成した。</p> <p>③就職後の仕事を想定した資格取得を行わせ、就職希望者100%内定を達成し</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>た。</p> <p>④各学年で卒業後の進路活動を視野に入れ個別面談を実施した。</p> <p>⑤進路のしおりの改訂版を作成し、生徒に配布し個別面談等で活用した。</p> <p>⑥グループエンカウンターを活用し、アクティブ・ラーニング型授業により、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の育成を図る取り組みを行った。</p> |
| 特別活動・部活動 | <p>①部活動加入率 100%である。今後は部活動を積極的に推進する。</p> <p>②全日制と合同開催の総工祭に参加した。展示物の充実を図ることが課題である。</p> <p>③「ものづくり教室」、「せたがや産業フェスタ」に参加し、地域連携を行った。多くの生徒が参加した。</p> <p>④特別活動・部活動を通して礼節ある生徒の育成に努めた。始業式、終業式の校歌指導を行い、愛校心の醸成に努めた。</p> |
| 健康・安全 | <p>①安全指導に関する研修を 3 回行った。生徒が安全・安心な学校生活を送れるように行事等を通じて指導を行った。</p> <p>②健康指導について、養護教諭を中心に啓発や個別指導を行った。</p> <p>③学校給食でオリ・パラ教育の一環として各国の料理を取り入れ、生徒に食の多様性を学習させた。アレルギーなどの給食事故は 0 件である。</p> <p>④生徒の安全確保の観点から施設・設備の点検を 3 回行った。</p> <p>⑤全日制との共同防災訓練 1 回を実施し、避難訓練を 4 回実施した。</p> <p>⑥体力テストの結果は、都・全国の平均点値には、及ばなかった。引き続き生徒の体力向上に努める。</p> |
| 募集・広報活動 | <p>①学校広報活動のために、中学生対象に PR 新聞を 3 号作成した。入学者の定員には達していない。</p> <p>②中学校延べ 50 校、教育委員会 15 カ所の訪問を行った。今後は戦略的な広報活動の展開を行っていく。</p> <p>③ホームページ更新を年間 53 回行った。</p> |
| 学校経営・組織体制 | <p>①分掌・学年の取り組み目標の見える化に向けて、鋭意努力している。</p> <p>②主任教諭育成プログラムを実践し、主任教諭選考 2 名を誕生させることができた。</p> <p>③個人情報紛失事故 0 件である。クリーンデスクの徹底をおこなった。ネットワークシステムの改善は、行われなかった。</p> <p>④教職員が一丸となって学校経営計画の実現に向けた努力を行った。</p> <p>⑤現物照合リストの整備・更新、学校徴収金の適正執行、文書保存の一元化を行った。会計事故 0 件であった。</p> <p>⑥全定司書を中心として図書君の一体的な運用を行うことができた。文化祭等では、全定で連絡調整を行いスムーズな運営を行うことができた。</p> <p>⑦学校が楽しいと回答した生徒は 62%、学校生活が有益であると感じた生徒は 82%であった。来年度に向けた課題を整理し取り組む必要がある。</p> <p>⑧服務事故 0 件であった。校内研修を年 1 回実施した。</p> <p>⑨主幹教諭を中心とした組織づくりが有効に機能した。企画調整会議での活発な意見交換が、今後の課題である。</p> |

2 重要課題への取り組み

(1)学習指導

| | |
|----|--|
| 課題 | <p>①学力 STD 学力調査における達成率（目標達成科目数/調査科目数） 77%</p> <p>②技能スタンダード達成率 80%</p> <p>③普通科の「アクティブ・ラーニング型」授業改善（3 回以上）</p> <p>④工業科の「探究型」授業改善（2 回以上）</p> <p>⑤悉皆の相互授業参観（1 回以上）</p> <p>⑥定時制版学カスタンダード等の進行管理（単元ごと）</p> |
|----|--|

| | |
|---------|--|
| 取組と評価 | <p>①基礎学力テストでは、約 80%達成した。</p> <p>②技能スタンダード定時制版では、資格取得及び検定試験合格をめざし、延べ 69 資格を取得し、全生徒対比 84%の生徒が取得したことになる。</p> <p>③普通科において「アクティブ・ラーニング型」授業改善を研究し実践を行い、授業観察 2 回行った。</p> <p>④工業科において「探究型」の授業改善について研究を行ったが、授業方法を確立するまでには至らなかった。</p> <p>⑤相互の授業参観は、研究授業や授業見学等で行うことができた。</p> <p>⑥教科主任が主体となり、定時制版学カスタンダード等の進行管理を図った。</p> |
| (2)進路指導 | |
| 課題 | <p>①生徒の適性に合った就職指導に取り組み、3年連続進路決定 100%を実現</p> <p>②技能系資格取得 40 件 (昨年 37 件)</p> <p>③本校の強みを分析した戦略的な学校広報活動を展開(中学校 250 校以上)</p> <p>④ホームページを活用した広報活動を展開(年間 24 回以上更新)</p> |
| 取組と評価 | <p>①進路決定率 100%を実現した。</p> <p>②技能系資格取得 48 件を達成した。</p> <p>③中学生向け PR 新聞 3 号を発行し、教育委員会 15 カ所に加えて、中学校へ直接持参し、50 校に配布した。</p> <p>④学校説明会は 22 回実施し、パンフレットは 800 部程度を配布した。HP は 53 回更新し、学校広報活動に寄与した。</p> |

3 評価と課題

| | |
|----|---|
| 評価 | <p>①学習指導：普通科を中心としたアクティブ・ラーニング型の授業展開は、各教科で試行錯誤しながら実施し始めた。工業科を中心とした「探究」の授業展開は、まだ研究途上にあり組織的な取り組みは行われていない。学校評価アンケートにより生徒は、アクティブ・ラーニング型授業を望んでいることも明らかとなった。</p> <p>②進路指導：社会のセーフティーネットの役割を担う定時制専門高校を自覚し、生きていくために必要な資格取得を奨励し、取得させている。さらに、生徒の希望進路 100%を達成した。進学では、一般入試で大学へ進学する等した。</p> <p>③部活動の入部率は 100%を達成している。同時に、継続率では、かなり下回る。</p> <p>④学校広報活動：昨年度から比べると中学校へ直接訪問し、中学校教員と話す機会を設けることができた。しかし、中学校側の理解不足があることも分かった。</p> |
| 課題 | <p>①ICT 機器を使用した、アクティブ・ラーニング型授業展開を行うためには、未だプロジェクターなどの視聴覚機器が未整備な教室が 6 部屋ある。これらの整備を行う必要がある。また、生徒は、相互に意見を伝えある授業を望んでいるので、早急に全面実施を行う必要がある。</p> <p>②さらに、多くの生徒の資格取得をさせる必要がある。</p> <p>③生徒が、継続的に部活動に取り組むための方策を考え、実施することも必要である。ただし、日中は、働いている生徒もいるため、必ずしも強制できないことがある。</p> <p>④中学校への PR をさらに行い、本校の PR を強化し、中学校教員の理解を深めてもらう必要がある。</p> |